

第 1 2 回  
議 会 報 告 会 報 告 書  
議 会 報 告 会 報 告 書

《西根地区》

平成 3 0 年 1 月 2 0 日 (土) 開 催

平成 3 0 年 5 月 1 4 日

角 田 市 議 会

**意見・質問・要望等**

- ①なぜ(議会報告会が)この時期の土曜の6時半なのか。桜の人口は3,500人ある。もっとみんなが来やすい時期・時間にしてもらいたい。【桜自治センター】
- ②このような議会報告会に参加するのはおおよそ60代だ。より若年層に参加を促せないか。【西根自治センター】
- ③今日の議会報告会への出席者は8人で高齢者ばかりだ。地区の問題でもあるが、議会の方ももっと若い人、例えば高校生などが出席し意見を言えるような機会になるよう工夫すべきでないか。【街なか交流サロン「ひだまり」】
- ④災害の対処方法について、市長の回答は、「避難計画の作成についての研修会を実施し、地域防災力の向上を図っていく」とあるが、平成29年度が終わるような時に、こんな回答を載せてどうなのかと思う。時期がどうなのかと言いたかった。【高畑南公民館】
- ⑤以前は議会報告会を年2回行っていた。年2回やっていたらこういうことは無かったのではないか。【高畑南公民館】
- ⑥開催時期に合わせた回答書にしてほしい。【高畑南公民館】

**当日の回答**

- ①各地区から頂いた意見・要望を整理し、当局と協議のうえ、実現できるものは予算に反映させます。予算編成の時期から逆算した結果がこの時期になっています。曜日や時刻もこれまで試行してきましたが、ご意見を参考に今後も改善を重ねていきたいと思えます。
- ②12回目となる議会報告会ですが、今後のあり方を検討しています。地域づくりの基本は若い方々であると認識しており、若年層にターゲットを絞った方法も一つであると考えています。
- ③その通りです。たとえば若者を対象とした一般会議を計画するなど考えられるので、今後検討します。
- ④議会としても1年おいてしまうので、4月か5月頃に議会報告会を開催し、皆さんから頂いた要望を次の年度に反映したいのですが、日程の調整がかなり難しい状況となっております。
- ⑤議会報告会を2回開催していた頃は、皆さんから要望を頂いて当局の回答を返すだけでしたが、それでは市民の皆様には申し訳ないと思ってきました。せっかく皆さんに集まって頂いて、皆様から頂いた要望をなんとか予算を取って実現して行かなければ市民の皆様のためにならないと考えています。次年度の予算は夏から準備が始まりますので、皆様から頂いた要望を実現するにはどうしてもこの時期になってしまいます。ご理解をお願い致します。
- ⑥議会としても努力しているところです。いましばらくお待ち頂ければと思います。

**当局・議会回答**

当日議員が回答したとおりです。開催時期や開催形式などについて、幅広い世代の方々より参加いただけるよう検討いたします。  
【議会】

**意見・質問・要望等**

地元の各種団体の役職数が多く、70代になっても働きながら役をこなさなければならず大きな負担だ。組織のスリム化ができないか。  
【西根自治センター】

**当日の回答**

各種団体等のスリム化については、先進事例を研究し、提言して参りたいと思います。

**当局・議会回答**

行政区域の再編・統合や、地域団体等の見直し等により、後継者不足への対応や、担い手の負担軽減に向けての検討を早急に進めてまいります。【まちづくり交流課】

## 防災に関すること

**意見・質問・要望等**

防災士資格取得は、二日間を要する。若い方は仕事もあり二日間を費やすことは困難である。配慮を求める。【西根自治センター】

**当日の回答**

要望として承り、当局に伝えます。

**当局・議会回答**

防災士は、日本防災士機構が社会の防災力向上のための十分な意識・知識・技能を有する方を認証する資格です。その資格を取得するためには2日間の研修の受講が必須となっております。仕事をされている方にとっては、なかなか大変な内容ではありますが、受講者からは好評を得ております。

なお、角田市が主催しました防災士養成研修講座は、平成26年度から平成28年度までの3年間実施し、158人が資格を取得しました。現在、その防災士の方々は、行政区や自主防災組織など、地域における防災リーダーとして活躍しております。【防災安全課】

## 防災に関すること

**意見・質問・要望等**

防災マップを見ると西根には土砂災害危険区域が多い。防災士が158人もいるとは初めて知った。地元にいると大変心強いと思うが、西根に何人いるのか。活躍の場をどのように設けるのか。  
【西根自治センター】

**当日の回答**

西根に防災士の方が何人いらっしゃるのか具体的な人数は把握していません。平成29年度は防災士のフォローアップ研修を行っていると聞いています。

また、防災士の方と各地域の自主防災組織との連携を推進するよう求めて行きたいと思います。

**当局・議会回答**

角田市が主催した防災士養成研修講座において、西根地区から17人の防災士が誕生しました。

今後は、その防災士に対して市が主催する研修への参加や、市や自主防災組織が主催する防災訓練への参加を呼びかけてまいります。

また、防災士としての知識と経験を活かしていただき、自主防災組織等における防災リーダーとしての活躍を期待しております。

【防災安全課】

**意見・質問・要望等**

報告の中にある急傾斜地崩落危険箇所の工事について「地元からの要望があれば行う」との消極的な市長回答は納得がいかない。要望がなければ対策しないのか。積極的な対策推進を求める。【西根自治センター】

**当日の回答**

地域のお声や要望を積極的に発信して対応する事が肝要と思います。対策推進するよう働きかけを行います。

**当局・議会回答**

土砂災害防止のための工事等が必要な急傾斜地崩壊危険箇所につきましては、工事費用の10%が受益者の負担になることから、地域から事業の要望があれば早期に行うように県に対して要望したいと考えております。【防災安全課】

**意見・質問・要望等**

災害時の緊急飲料水等として、家庭の未使用になっている井戸を確保するべきではないのか。【西根自治センター】

**当日の回答**

要望として受け止め、当局に伝えます。

**当局・議会回答**

災害時において、未使用の井戸を飲み水として活用することは、水質の衛生管理上、難しいと考えます。  
災害時に水道の供給に支障が出た場合、井戸水を飲み水以外の生活用水として活用することについて、今後検討してまいります。【防災安全課】

**意見・質問・要望等**

汚染廃棄物処理について、バグフィルターのパフォーマンスに懐疑的だとして反対の方がいたが、他の処理方法があるのか。  
また、8,000Bq/kg超の汚染廃棄物をお持ちの方には今後どう指導していくのか。【西根自治センター】

**当日の回答**

まずは、試験焼却を行い、安全であることが確認出来れば、進めるとのことです。8,000Bq/kg超については、まだ決定していません。

**当局・議会回答**

8,000Bq/kg以下について、焼却以外の処理方法として、すき込みや堆肥化がありますが、大量の廃棄物を安全に、かつ迅速に処理するためには、仙南圏域は仙南クリーンセンターで焼却処分することに仙南2市7町で合意しました。  
8,000Bq/kg超の農林業系廃棄物については、県の方針が示されていないため、保管農家に保管していただいています。今後県の方針に沿って行っていきます。【生活環境課】

**意見・質問・要望等**

高齢者の独居も多く、ごみの分別が出来ないこともある。ごみを出すことが出来ないごみ出し難民となり、自宅内がゴミだらけになることもあるため、分別の簡素化を求めたい。【西根自治センター】

**当日の回答**

仙南地域広域行政事務組合に分別の簡素化を求め、一部実現出来た部分もありました。仙南クリーンセンターの炉の実情にあった分別の在り方を模索したいと思います。ゴミ出し難民の実情も当局へ伝えます。

**当局・議会回答**

ごみの分別ルールは仙南圏域共通であることから角田市のみ変えることはできませんが、少しでも簡素化できるよう仙南地域広域行政事務組合に働きかけていきます。なお、高齢でゴミ出しが難しい方にシルバー人材センターの「おでっ隊」や「軽度生活援助サービス」を紹介しております。【生活環境課】

**意見・質問・要望等**

結婚をしない若者が多い。どのような対策を考えているのか。  
【西根自治センター】

**当日の回答**

婚活パーティを年2回行っていますが、特に男性が消極的であると聞いています。男性向けのセミナーだけでなく、両親対象のセミナーも開催しています。企業へも婚活に関する環境整備を求めるなどの対策を進めているようです。

**当局・議会回答**

対策としては、市内の独身者の結婚活動をサポートするため、結婚を希望する独身男女の出会いの場づくりとしての交流イベント、コミュニケーション能力等向上を図るための婚活セミナー、親御さん向けセミナー、婚活バンク登録による情報提供、企業や団体など関係機関間の情報交換を行う婚活連絡会などの婚活支援事業を行っています。なお、平成29年度は、婚活パーティーを4回行い、23組のカップルが誕生し、そのうち1組のカップルが結婚いたしました。  
【生活環境課】

## 学力に関すること

**意見・質問・要望等**

学力について、各保護者への実情を伝達するのか。全市民へ知らせるべきではないのか。【西根自治センター】

**当日の回答**

教育問題と人口減少問題は密接に関連していると考えています。学力調査結果報告はまず市P連において行い、今後は各PTAに説明を行うとの説明を聞いています。

**当局・議会回答**

議員回答のとおりです。【教育総務課】

## 学力に関すること

**意見・質問・要望等**

子どもの学力の低下について、今の保護者は興味がない。また、生徒も勉強法が分かっていないこともあり、学校と保護者の意識改革が必要ではないか。点数を見ると倒れそうになる。  
【西根自治センター】

**当日の回答**

ご意見として承り、当局に伝えます。

**当局・議会回答**

ご意見として承ります。【教育総務課】

## 学力に関すること

**意見・質問・要望等**

角田市の小中学校の学力低下の原因について何が原因であると思うか。【西根自治センター】

**当日の回答**

全国学力調査は単なる学力調査ではなく、理解力の調査であり、全国及び県平均から比べて低いという結果でした。予習復習時間に比べ、テレビ、ゲーム、スマホに触れる時間が長いという実情が浮き彫りになり、要因の一つではないかと思われます。  
また、家庭内でテレビ、ゲーム、スマホの使用時間等についてルール決めをしていないのではないのでしょうか。学習塾に通う児童、生徒が都市部と比べて少ないことも要因の一つであろうと思います。

**当局・議会回答**

議員回答のとおりです。【教育総務課】

**意見・質問・要望等**

学力低下の要因の一つは競争力の低下である。学校にも問題があると思う。教員が角田市に住むことなく、角田市に根を降ろした教育を行っていないのではないか。塾も少なく教育環境が整っていないことから他自治体へ進学することもある。【西根自治センター】

**当日の回答**

ご意見として承り、当局へ伝えます。

**当局・議会回答**

ご意見として承ります。【教育総務課】

**意見・質問・要望等**

スクールバス運行の陳情を当局に行ったが、「もう少し待てば子どもの数が減るから配車できる」との回答であり憤慨した。変質者等が出た場合に逃げ込む場所の周知徹底など、行政として最低限の教育環境を整備すべきである。

子を持つ家庭の心情とすれば利便性の高い自治体へ移っていくのが自然だ。子どもをないがしろにして将来を語るなど愚の骨頂だ。

人が先なのか予算が先なのか、大事な事を忘れていないか。

【西根自治センター】

**当日の回答**

ご意見として承り、当局に伝えます。

**当局・議会回答**

子どもをないがしろにするという事は考えておりませんが、誤解を招くようなご回答をしたとすれば、誠に申し訳ありませんでした。

スクールバスの運行にあたっては、児童生徒の事を考えながら、よりよい方法を検討しながら実施して行きたいと考えております。

【教育総務課】

**意見・質問・要望等**

遊休農地、空き家対策が西根の喫緊の課題だ。保全隊活動参加者も非常に少ない班がある。

中山間地の維持を今後どのようにしていくのか。

【西根自治センター】

**当日の回答**

活動できる若い方々をどのように取り込んでいくのかも一つの方法と考えます。非農家の方でも保全隊に参加可能です。

また、複数の行政区で保全隊を構成するなどの方法もあります。

今後、各団体間で模索すべきであろうと思います。

**当局・議会回答**

中山間地域においては「中山間地域等直接支払交付金制度」や「多面的機能支払交付金制度」を活用しながら、耕作放棄地対策や鳥獣被害対策、景観作物の栽培や稲作体験などの多面的な活動等を展開しており、今後ともしっかりと支援してまいります。【農林振興課】

**意見・質問・要望等**

イノシシ駆除の問題についてはどのように対処していくのか。新しい方法を模索して欲しい。【西根自治センター】

**当日の回答**

人の生命保護、交通安全、農作物の保護の観点から大変重要な課題であると認識しています。先進事例を研究し、対策を講じたいと考えています。

**当局・議会回答**

主な駆除方法は、年間を通した箱わな・くくりわなによる駆除、及び11月15日～2月15日の狩猟期間に行われる駆除となっています。全国的にも箱わな・くくりわなでの駆除が最も有効のようですが、他の駆除方法についても情報収集に努めます。【農林振興課】

**意見・質問・要望等** イノシシ対策について、罠か電気柵か銃で撃つかしからない。西根はこのままだとイノシシに飲みこまれてしまう。  
住処となる場所を徹底的に減らすべきであり、行政が強く推進すべきである。【西根自治センター】

**当日の回答** 要望として承り、当局に伝えます。

**当局・議会回答** ご指摘のとおり、イノシシの生息域を居住地周辺から遠ざけることで被害が軽減されると思われます。山林の下刈りや放棄果樹の排除等による環境整備によりイノシシが好む環境を排除すべく、広報等による周知や地域ぐるみでの活動に対して支援してまいります。  
【農林振興課】

**意見・質問・要望等** イノシシ問題は全国の課題だ。高齢化に伴いハンターの減少等駆除もままならない。国民の生命保護の観点から自衛隊に組織的に駆除活動を依頼出来ないか。【西根自治センター】

**当日の回答** 要望として承り、当局へ伝えます。

**当局・議会回答** 市の駆除隊員も高齢化が進んでいますが、新たな隊員を確保するため、平成30年度より狩猟免許取得に係る補助を1/2から10/10に拡充しております。なお、自衛隊への依頼はなかなか難しいものがありますので、今後とも駆除隊員数の確保に努めながら、積極的に捕獲してまいります。【農林振興課】

**意見・質問・要望等** 市に情報公開を請求し、第3セクター株式会社まちづくり角田についての資料をいただいたので、その内容を皆さんと共有したい。計画では、年間1,200万円の収入があり、経費を差し引いて営業利益が、初年度△722万円、2年目△770万円、3年目△755万円となり、指定管理料で赤字を補填することとなります。このことについて、議員の意見、政策、理念を伺いたい。【西根自治センター】

**当日の回答** 議会報告会は、議員個人の意見を述べる場ではないので、回答はできません。議会に対しても運営計画の報告がありますので、発言の件については、今後の審査の参考にさせていただきます。

**当局・議会回答** ご意見の収支計画ですが、お出した資料の内容と発言内容に乖離があります。収支計画の売上高は約2億7千万円で、管理費等を支出した純利益は初年度が約117万円～5年目が約215万円です。  
指定管理料は補助金ではありません。指定管理料は、道の駅の公共施設(公衆トイレや休憩室、駐車場、広場といった道の駅機能施設や防災設備)の維持管理経費相当額を見込んだものであり、損益補填を目的として支出するものではありません。【商工観光課】